

田丸卓郎 （漢字） 物理學者、理學博士。明治五年九月、平五右衛門守縣
 生れ、昭和七年九月、千二日歿（八七二—一九三二）。明治二十八年帝國大
 學理科大學物理學科卒。ドイツ留學後、第五高等學校教授、京都帝大
 助教授を経て東京帝大教授となる。一方ローマ字論者として知られ、
 田中館愛橋と日本のローマ字社と創設したローマ字推進の先導者。
 著書『羅馬字文の書き方（附日本式羅馬字の論）』（明治二十九年十
 一月、千四百二十番堂書店）、『ローマ字國字論』（大正二年十月十八
 日日本のローマ字社）、『ローマ字文の研究』（大正九年十一月十五
 日日本のローマ字社）、『日本語の世界的書き方（現に應用せられし）
 』あるローマ字』（昭和二年七月、千五百日本ローマ字會「日本ロー
 マ字會パンフレット」）、『文法字引』（昭和四年八月、日日本のロ
 ーマ字社）、『ローマ字國字論』（昭和五年六月十五、岩波書店）、
 『田丸博士論文集一日本式ローマ字の歴史と展開』（昭和九年二月
 一日日本のローマ字社）、『ローマ字讀み方』（田中館愛橋、第
 二版、昭和十年四月、千五百日本のローマ字社）、『ROMAZEN』
 全二冊（I・昭和十年十一月十日、II・十一年六月十日、岩波書店）等。

